

この研修は日本弁理士会の継続研修として認定を申請中です。
この講座を受講し、所定の申請をすると、外部研修機関として2単位が認められる予定です。



11月21日(火)開催

中国での技術情報流出リスクに備えるために、知財担当者として知っておくべきポイントを解説

中国における営業秘密・ノウハウの保護と マネジメント実務の注意点

日系企業による中国現地事業が拡大する中、重要な技術ノウハウをはじめとした自社の営業秘密を中国でどのように保護していくかは難しい問題です。人材の流動性が高い中国では、従業員・元従業員が関与する情報流出リスクは日本とは比べものにならず、取引先や代理店などから技術情報等が漏洩するケースなども後を絶ちません。

取扱いの難しい営業秘密・ノウハウの保護には様々な実務上の課題が存在しますが、中国でのマネジメントとなると考慮すべき事項は更に複雑になります。この難題と向き合うためには、法律面・制度面の知識と実務情報を正しく理解することが不可欠です。たとえば先使用权主張に備えた証拠保全のために公証手続をするにしても、どのような方法で公証をすればよいのか、日本での公証手続とは何が違うのか等、**中国現地実務の具体的な注意点を予め把握しておかなければトラブルに備えることはできません。**

そこで今回は、中国現地の最前線で長年にわたり日本企業の知財保護をサポートし、営業秘密関連についても豊富な知識と経験を有する講師によるセミナーを開催します。中国での営業秘密・ノウハウへの対応に不安がある方は この機会をお見逃しなく。

講師 **宮原 貴洋 (みやはら たかひろ)**

啓源国際特許事務所 所長弁理士

元 独立行政法人日本貿易振興機構 (ジェトロ) 上海事務所 知識産権部部長

大手飲料メーカーの知財部門を経て、2004年より日本貿易振興機構(ジェトロ)勤務。

上海事務所の知的財産部長として、日系企業の支援に従事。「中国知財リスク対策マニュアル」等の編纂に関わる。中国における著作権侵害の現状と対策に関する研究会委員、中国知的財産リスクについての調査研究委員会委員などを歴任。中国の知財事情に精通したプロフェッショナルとして、講演・著作多数。

 **日本アイアール (企画・運営)**

〒160-0008 東京都新宿区三栄町25-7 太田ビル3F

電話：03-3357-3467 E-mail: ir@nihon-ir.co.jp

「中国における営業秘密・ノウハウの保護とマネジメント実務の注意点」講座内容（※予定）

1. 中国における営業秘密・技術ノウハウ流出の実態
 - ・被害実態と近年の動き
 - ・従業員からの流出
 - ・取引先/代理店からの流出
 - ・ネット上での流出
2. 中国での営業秘密・ノウハウの法的保護
 - ・中国の不正競争防止法における営業秘密の保護
 - ・刑事/民事での主な裁判例の紹介
3. 中国における証拠保全のポイント
 - ・中国の公証制度の概要
 - ・公証手続をする際の実務上の注意点
 - ・中国におけるタイムスタンプの現状
4. 中国での先使用权主張について
5. 中国現地法人/子会社等における営業秘密・ノウハウのマネジメント
 - ・契約/規程類、体制構築、現地教育など
 - ・中国での職務発明規程における留意点
6. まとめ（日本企業がとるべき対策）

◆開催日時：2017年11月21日（火） 14:00~16:30

◆会場：機械振興会館 研修2号室 ◆定員：60名

◆受講料：9,000円/1名（税別） [税込：9,720円/1名]

※最少催行人数に満たない場合は、中止させて頂く場合がございます。予めご了承ください。

★交通アクセス：

東京メトロ

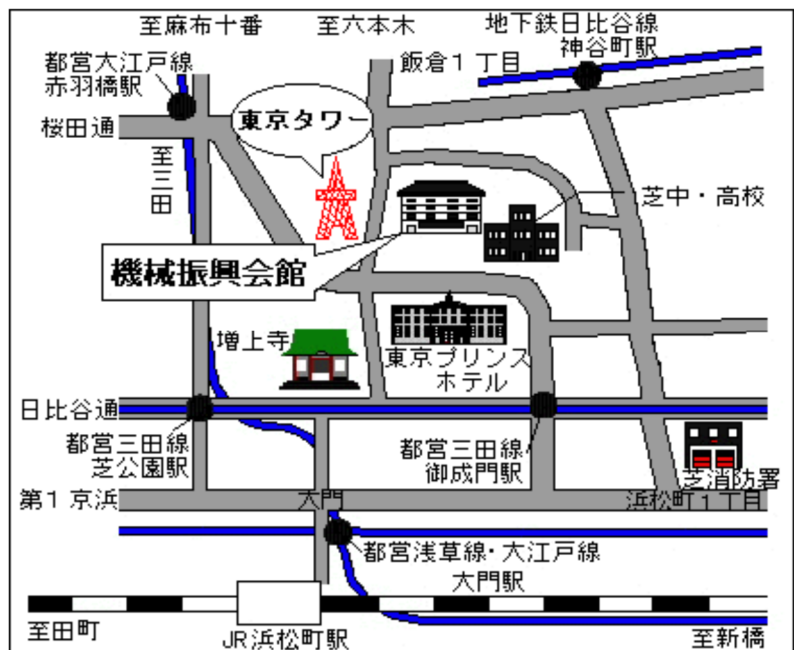
- ・日比谷線：神谷町駅下車 徒歩8分

都営地下鉄

- ・三田線：御成門駅下車 徒歩8分
- ・大江戸線：赤羽橋駅下車 徒歩10分
- ・浅草線/大江戸線：大門駅下車 徒歩10分

JR

- ・山手線/京浜東北線：
浜松町駅下車 徒歩15分



■申込書（中国における営業秘密・ノウハウの保護）

FAX番号：03-3357-8277

以下の事項をご記入の上、日本アイアール宛にFAXで送付してください。

（日本アイアールセミナー事務局）

会社名		部署名	
住所	〒		
お名前		E-Mail	
電話番号		FAX	